

中 部 N O W

公益財団法人オイスカ 愛知県支部・中部日本研修センター会報

第310号
令和3年 3月号

発行:(公財)オイスカ中部日本研修センター

〒470-0328 豊田市勤八町勤八27-56

TEL 0565-42-1101 FAX 0565-42-1103

E-mail: chubu@oisca.org http://www.oisca.org/



「令和3年2月12日 電気新聞」に記載された内容をそのまま活字にしました。

オイスカ中部後援会 リモートで活動報告会 「継続した支援に感謝」

アジア・太平洋地域で農村開発や環境保全活動を行うオイスカ(東京都杉並区、中野野悦子理事長)の中部日本後援会(会長 水野明久・中部電力相談役)はこのほど、2020年度の報告会をオンライン形式で開いた。会員企業21社から関係者がリモートで参加し、20年度の活動内容や今後の活動計画などを報告した。

冒頭あいさつした水野会長は「コロナ禍で厳しい経済状況はしばらく継続すると予想されるが、オイスカ活動に対して引き続き支援をお願いしたい」と話した。

報告会は8日に開いた。水野会長は新型コロナウイルスの影響に触れつつ、今年でオイスカ設立から60周年、中部日本後援会の設立から15年の節目を迎えることに言及。会員に対し「皆様の理解、支援のたまもの」と謝意を示した。

活動報告会では中部日本研修センターや中部日本後援会、愛知県支部がそれぞれ、20年度の活動内容や21年度の活動計画を報告。本部からは、今後10か年計画立案のポイントが説明された。このほか、東日本大震災支援として宮城県名取市内で11年から取り組む海岸林再生活動も報告した。

オイスカは1961年に設立。現在は36の国と地域に拠点を構え、活動を展開している。中部日本後援会は06年に設立され、中部日本研修センターの活動に対し財政面で支援している。



オンライン開催された活動報告会であいさつする水野会長(右)

コラム

幸せな国、日本

海外に出て海外体験が大切なものだと気づきました。

言葉の違い、食べ物の違い、そして気候風土の違いなど、異文化であります。

東南アジアの中でタイの国くらいまでは日本のニュースや日本の文化が多少なりとも伝わってきますが、タイ国より西に向かうと、日本的なものはいなくなり異文化そのものになります。海外生活の体験のある日本人は、日本の生活レベルが、世界中で高いものだと思えます。世界中で高いレベルにあると思っている人は少ないと私は思っています。マレーシアとタイを除く各国の一般庶民は月に日本円にして2、3万円が生活しています。

オイスカの海外研修センターがあるミャンマーでは、年収平均13万円です。これも少ないと驚きました。もっと驚いたのはオイスカ研修センター職員の給与は、ミャンマー内の団体や企業の社員より高いということを知りました。これには感心しました。

このように海外事情を理解すると、日本に住める事はいかに有難いかと分かります。海外に住む日本人は生まれた国のことを終生忘れることができません。日本の餅一個、海苔一枚を食べると元気が出るといいます。

オイスカ愛知県支部事務局長

村松 明

みよし推協講演会「これからはじまり」

2月20日(土)午前11時、海岸林再生の会長 鈴木英二様・元閑上保育園所長 佐竹悦子様・みよし市長 小野田健司様をお迎えして、保田が池公園にて「黒松」植樹祭をした。被災地名取市とみよし市は、市指定の木が同じ「くろまつ」のご縁があり、海岸林で植えている苗木が届き植えることができました。

午後2時から、サンライズ(図書館)で講演会を開催。被災地、閑上地区は6,000人の漁港で、地震と津波で753名の方々が犠牲のなり、その時町にある保育園所長佐竹悦子さんは、地震後保育園児54名全員2キロ先の学校へ避難を指示し全員を救いました。日ごろから「地震が起きた時、どのように避難するか考えておきなさい」と言ってきたことが良かったと話されました。

鈴木英二さんは、塩害防止と砂防のための海岸林を、民間とオイスカで100Haに黒松37万本の黒松を先頭に立って植えられました。黒松が育つまでこの先20年・30年と事業は継続されます。

参加者アンケートでは「他人のことではなくさっそく災害の備えをしておきたい」「海岸林の大切さがよく分かった」など8割の方から感想をいただきました。



オイスカみよし推進協議会
会長 伊藤 安信

【技能実習生受け入れのご提案】

「外国人技能実習制度」は日本が国際社会で先進国としての役割を果たすため、人材育成を通じた技能や知識の開発途上国への移転を図るものです(厚生労働省ホームページより要約)。日本の深刻な労働力不足を直接解決するためではないものの、同一労働同一賃金の適用もあって優秀な技能実習生は言葉の不自由を除けば一端の社員として頼れる存在となっているケースもみられます。職場での国際交流が生まれ、異文化理解を通して自国の再探索なども副産物として生まれてきます。

現在中部センターでは約20の会員企業様の元、約60名の技能生が実習を行っております。主にフィリピン、マレーシア、ミャンマーからの来日です。1号(1年)→2号(2,3年)→帰国或いは一旦帰国→3号(4,5年)という流れに沿い、技能試験がそれぞれ1年、3年、5年目にありスキルアップを積んでいきます。

皆様には今まで会費をはじめ国内行事/海外ツアー参加への参加などを通してオイスカ活動への尊いご支援をいただき心より感謝を申し上げます。また新しい形の国際協力として、海外からの若い人材に寄り添うこの制度を考えてみていただけないでしょうか? 指定業種(150種類の作業)であれば、個人、会社形態は問われません。ご不明な点はぜひお問い合わせください!



中金小学校オンライン交流会

1月21日（木）、2月19日（金）に中金小学校の6年生とオンライン交流会を行いました。

交流会では、「小学校での1番の思い出」というテーマに沿って英語を使ってそれぞれの思い出を語り合いました。子ども達は各国の小学校の様子を聞いて日本との違いに興味津々でした。また、片言の英語でも外国の人と会話ができたことをとっても喜んでいました。

中村仁美（筆）



介護研修生修了式



2月1日（月）有限会社山本の技能実習生エデン・ジョイスの基礎研修修了式が行われました。2名は蒲郡市にある介護施設で実習予定です。

コロナウイルスの影響などもありフィリピンで長い間待機をしていた2人。待機中は日本に来ることを諦めようかと思ったこともあったそうですが、去年の12月にやっと日本に入国でき、2か月間の基礎研修を終えました。誰とでもすぐに仲良くなれる明るいジョイスさんと、いつも笑顔が素敵な優しいエデンさんです。慣れない環境で大変なこともあるかと思いますが、2人で協力し日本で頑張っしてほしいです。

（山本の皆様、これから3年間お世話になります。よろしくお願いたします。

中村仁美（筆）

公益財団法人 SOMPO 環境財団 CSO ラーニング インターンシップ生修了

8月から半年間インターン活動をさせていただいた岸拓実です。オイスカでの経験は、とても刺激的なものばかりでした。農業は、規模が大きく、生産活動の大変さを知りました。大学でも農業関係のことを学んでいますが、販売に関することは初めてであったため、パッキングや出荷は良い経験となりました。今後の自分の活動に役立てたいです。研修生や技能実習生との交流は、海外へ行ったことのない私にとって大変貴重な経験となりました。普段使う日本語も教えるとなると難しいことを知りました。また、お互いの国について話し合うことで視野を広げることができました。コロナが落ち着いたら実際に海外へ行き、見識を深めたいと考えます。

これら以外にも普段できない様々な活動をさせていただき、成長の糧となった気がします。初めはわからないことばかりでしたが、センターの皆さんのおかげで楽しく活動することができました。ありがとうございました！



岸 拓実

今年度インターン生の坂下瑞萌です。まずは、コロナ禍でインターンの受け入れを辞退したり、オンラインだけの活動になってしまった団体がある中、今まで通り引き受けてくださった御礼申し上げます。ありがとうございます。

大学以外で外国籍の友達を作りたいと思い、オイスカでインターンをすることを決意しました。私は主に研修生と農業を行っていましたが農学部ではないので、農業のことは全然分かりませんでした。農業の大変さは聞いた話で知っていましたが、活動を通して農業の楽しさを知りました。この半年で農業の全てを理解しきれてはいませんが、もっと農業のことを知りたいと思い、2月は1ヶ月間泊まり込みで作業させていただきました。

この半年間、様々な思い出がありますがやはりオイスカと出会い、家族みたいなスタッフ・研修生と過ごせた時間が宝物です。インターンとしての活動は終わりましたが、これからはボランティアとしてお世話になりますのでよろしくお願いいたします。



坂下 瑞萌

2月研修生の活動 筑田明生(筆)



太啓建設株式会社様が豊田市御船町にイチゴ農園を始めました。さっそく見学をお願いし、河合監査から研修生をご招待頂きました。



タイの研修生デンさん、2月21日に政府支援便で帰国しました。出発前日に損保インターン生の二人が会いに来てくれました。



フィジーのライさん、帰国便が無く一人で研修継続中です。去年は断片的にしか出来なかった育苗に取り組んでいます。

更新会員名簿(702/827)

岡崎(22/31) 新海正春
蒲郡(8/9) 蒲郡市役所
刈谷(37/42) 外山鉦一
豊田(204/251) 加藤英行、中山純二、加藤勝代
名古屋(60/60) 柳川めぐみ
名古屋北(16/12) 田中一成
西尾(34/42) 株式会社あいや

新入会(個人)

加藤一子(三重県四日市市)

新入会(法人)

株式会社 朋優春日井市
株式会社 マルタケ(常滑市)
株式会社 山田商会(名古屋)
マウントラック 株式会社(名古屋)

寄付金

リネットジャパングループ 株式会社(大府市)
株式会社 For Nature(名古屋)
オイスカ友の会(豊田市)
土居峻(名古屋)
金田芳彦(豊田市)
坂元正弘(豊田市)
白竹建設 株式会社(碧南市)
永井嗣実(豊田市)
竹中造園土木 株式会社(碧南市)
神野重行(名古屋)
生興 株式会社(東京都中央区)

寄付金(つづき)

長谷川幸一(丹羽郡扶桑町)
柘植史雄(西尾市)
竹内齒科(名古屋)
川上洋右(豊田市)
株式会社 ミクロ技研工業 (豊田市)
広川台小学校教職員(豊田市)
大沼小学校教職員(豊田市)
沼田昭雄(名古屋)
マツオカ建機 株式会社(三重郡川越町)
オイスカ安城推進協議会(安城市)
トヨタファーム(豊田市)
オイスカみよし推進協議会(みよし市)
名和洋子(丹羽郡扶桑町)
中村浩之(豊田市)
柘植和子(岡崎市)
杉浦房市(高浜市)

寄付品

坂下瑞萌(岡崎市)
松石裕就(名古屋)
太啓建設 株式会社(豊田市)
梅村清春(豊田市)
トヨタファーム(豊田市)
シマツ 株式会社 (刈谷市)
清水忠雄(豊田市)
酒向淳治(豊田市)
鈴木康予(豊田市)
小林ひろみ(岡崎市)
松井孝司(浜松市)
加藤善昭(名古屋)
市脇公平(大府市)
酒向慎(豊田市)
明保澄雄(岡崎市)
日本モウルド工業株式会社(安城市)

オイスカ卵の販売

- ・遺伝子組み換えでない
トウモロコシを餌に使用
- ・平飼いの鶏から産まれた
新鮮たまごをお届けします

6個入りパック 240円
10個入りパック 400円

インクカートリッジ

梅村清春(豊田市)
大豊工業 株式会社(豊田市)
市脇公平(大府市)

ベルマーク

市脇公平(大府市)

書き損じはがき

竹中造園土木 株式会社(碧南市)
市脇公平(大府市)